

Contents

- ▶ 「BAURAミーティング」にて謎解きイベント実施
- ▶ さわやかウォーキング・鉄道マルシェにブース出展
- ▶ なごや生物多様性センターまつりに参加
- ▶ 本年度2回目の「伊勢湾海洋調査実習」を実施

- ▶ 「みえ環境フェア2022」に参加し朝明浜谷の環境保全活動を紹介
- ▶ 3年ぶりの「サンタ電車」運行
- ▶ ジョイントセミナー2022にて準グランプリ獲得
- ▶ SPORTS TOPICS (サッカー部&硬式テニス部)

「BAURAミーティング」にて謎解きイベント実施

晴天に恵まれた10月16日(日)、四日市港で行われた「BAURAミーティング」に総合政策学部のゼミでまちづくりを学ぶ学生たちが参加しました。現在の四日市港があるあたりを指した「四日市庭裏(ばうら)」を会場として、今回初めて開催されたこのイベントは、四日市港の新しい賑わいづくりのために様々な企画を考えていこうというものです。本学の学生は近畿大学の学生と一緒に、四日市港のことを楽しみながら知ってもらう「四日市楽習さんぽ」というウォークラリーを3ヶ月間かけて企画しました。参加者は謎解きに挑戦しながら実際に四日市港を歩いて、ゲーム感覚で四日市の良いところをたくさん知ってもらうことができました。



さわやかウォーキング・鉄道マルシェにブース出展

11月23日(祝)に開催された「JR東海さわやかウォーキング」に四日市大学が参加しました。高齢化社会の中で地方鉄道や公共交通機関の存続の重要性を学ぶ「鉄道とまちづくり」を受講している、本学の総合政策学部の学生がブース出展を行いました。また、当日は、三岐鉄道「暁学園前駅」から紅葉の伊坂ダムを散策し、JR貨物の機関車と三岐鉄道の電気機関車が展示されたJR富田駅までのウォーキングを楽しんだ参加者のみなさんへ、本学のクラブ活動「旅倶楽部」の学生が特製オリジナル缶バッジをプレゼントし、鉄道ファンのウォーキングイベントを盛り上げました。



なごや生物多様性センターまつりに参加



10月29日(土)、なごや生物多様性センターまつりが開催されました。この日は、生物多様性の保全に取り組む市民団体や教育研究機関等が、なごや生物多様性センターにそれぞれのブースを出して、日々の活動を紹介しました。生きものとの触れ合いや標本の観察、講演、ワークショップなど子どもから大人まで「生きものたちの豊かさやつながりの大切さ」を、楽しく学べるイベントとして開催しました。本学からは「野生生物保全学研究室」の野呂ゼミ(環境情報学部)に所属する学生たちが研究に使用している標本を持参して参加しました。子どもたちはシカの角をさわったり、モグラのはく製を見たりしながら、野生動物の話を生徒たちから興味深く聞いていました。

本年度2回目の「伊勢湾海洋調査実習」を実施



11月24日(木)と25日(金)に伊勢湾海洋調査実習を実施しました。松阪港から出港して四日市港沖のE1地点へと向かい、そこから名古屋港沖のE2地点、中部空港沖のE3地点、津市沖のE5地点と巡り、水質調査、採泥調査、ベントス調査(海底生物調査)、ニューストーンネットを用いたマイクロプラスチック調査などを行いました。学生たちは、この実習に先立って行われた複数回の事前授業や事後授業に参加してレポートを提出することで実践的な学び(アクティブラーニング)に繋がっています。



「みえ環境フェア2022」に参加し朝明溪谷の環境保全活動を紹介



12月11日(日)に三重県地球温暖化防止活動推進センター主催の「みえ環境フェア2022」がメッセウイング・みえで開催されました。今回のテーマは「Cool Choice カーボンニュートラルの実現に向けて、地球の未来のために、今選ぼう」で、多くの環境団体や企業や県・市町村の環境部門がブースを出展しました。中央ステージでは、四日市大学や三重大学などの学生による環境トークが行われました。本学は環境情報学部千葉研究室の学生が参加し、最近の研究内容として、地球温暖化で衰退の進む朝明川源流のブナ林の保全を図るための調査活動について紹介しました。

3年ぶりの「サンタ電車」運行

三岐鉄道北勢線にて人気イベント「サンタ電車」が、12月17日(土)に3年ぶりに運行されました。子供たちに鉄道の楽しさを味わってもらい、地方鉄道の存続につなげようと四日市大学と三岐鉄道が企画し、2010年より始まったイベントです。クリスマス仕様のラッピング車両を使用し、学生サンタが子供たちにお菓子やバルーンアートをプレゼントして盛り上げました。また、駅のホームでは、本学の吹奏楽団が演奏を披露。今年の参加人数は約2100人で、3年前の1500人より大幅に増え、小さな子供を連れた家族で大いににぎわいました。



ジョイントセミナー2022にて準グランプリ獲得



12月3日(土)と4日(日)に、各地の大学から、地方自治や公共政策について学んでいるゼミ学生が集まって、研究発表と意見交換を行うイベント「ジョイントセミナー2022」が本学で開催されました。日頃、接することのない他大学の学生との意見交換や、他大学の先生方からの鋭い指摘など学生にとっては緊張の連続だったと思いますが、未来につながる良い刺激になりました。本年はグランプリは該当なしとなりましたが、それに次ぐ準グランプリに本学小林ゼミ(総合政策学部)の研究発表「ダイバーシティと災害」が他大学の2つの研究発表とともに選ばれました。

SPORTS TOPICS

ヴィアティン三重 加入内定

サッカー部
鈴木 海仁 選手
(総合政策学部 4年)

ヴィアティン三重は、三重県を拠点に将来のJリーグ入りをめざして活動するサッカークラブです。



全日本学生室内テニス 選手権大会出場

硬式テニス部
谷川 大雅 選手
(総合政策学部 3年)

全日本ランキング上位者及び各地方学生テニス連盟が推薦する選手が出場する大会です。



教員紹介ページリニューアル!

四日市大学にはどんな先生がいるのか、どのような研究や授業をしているのか。本学の教員のプロフィールから、研究・教育への想いや、学びから伝えたいことなどを語っていただきました。



※本号は2022年10月から12月までの情報を中心に掲載しています。

